

4F学内

芸祭

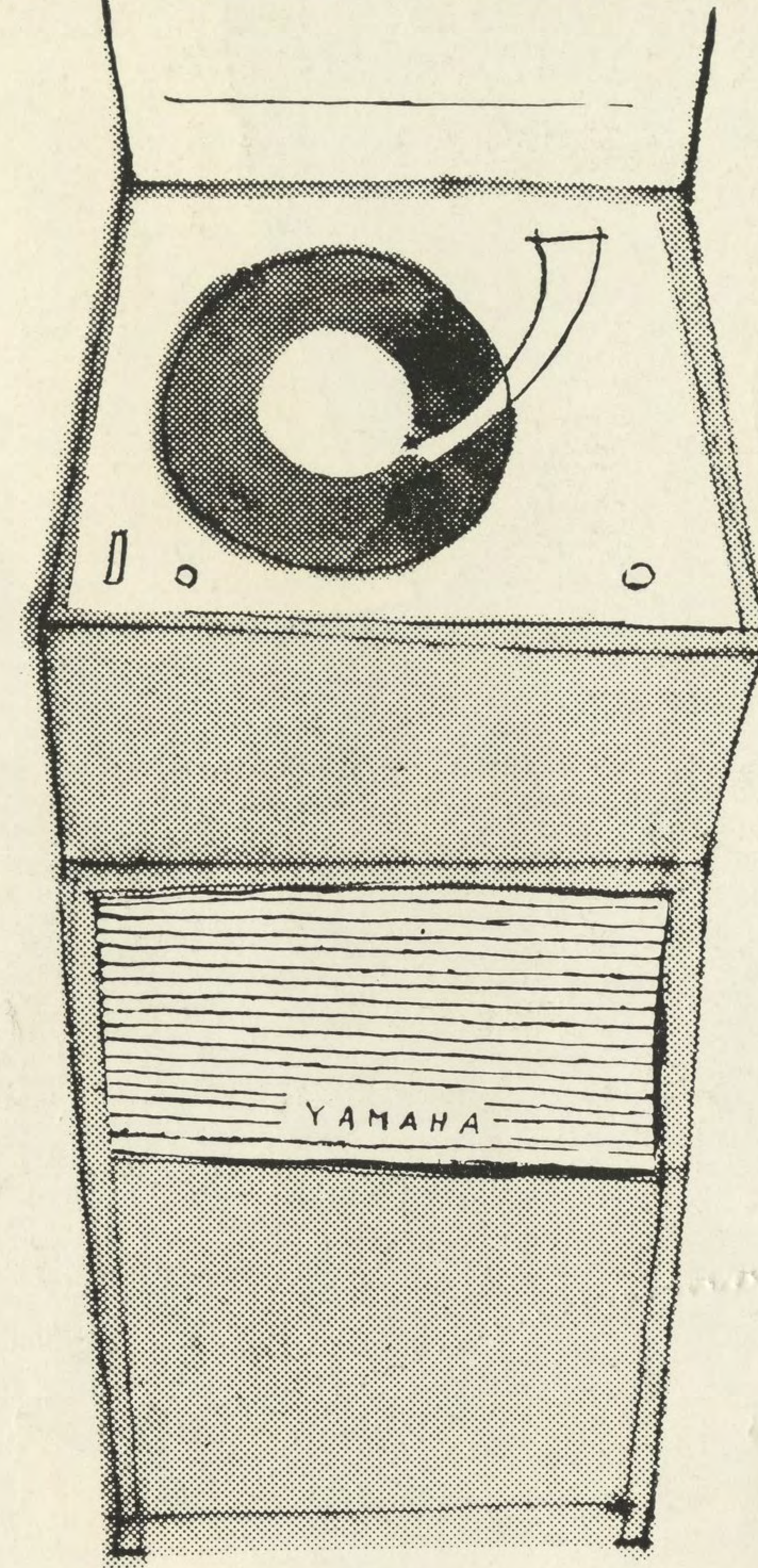
1956

1956 東京芸術大学芸術祭案内

芸祭

H. Sano

ヤマハHIF:ジュニア



ご家庭で聴くラジオ付電蓄の決定版!

プレーヤー	¥21,800
アンプ	¥13,200
+ スピーカー	¥10,000
1セット	¥45,000



日本楽器

天災は忘れた頃に来るといふが、芸術祭もやつぱりそんなものか。尤も此方は忘れたのは祭そのものではなくて、もう来たかと思う位に時を忘れるのだ。今年は如何なる催しがあるのか、聴いて居ないし、それでよいのであろう。台所に坐り込んで待つて居ては、料理が折角出来た時分には、食気を失つて了う。うまくて栄養たつぷりなどという、ぜいたくな注文はつけないが、あつさりと品のよい料理になるとよいと思う。

学長 上野直昭

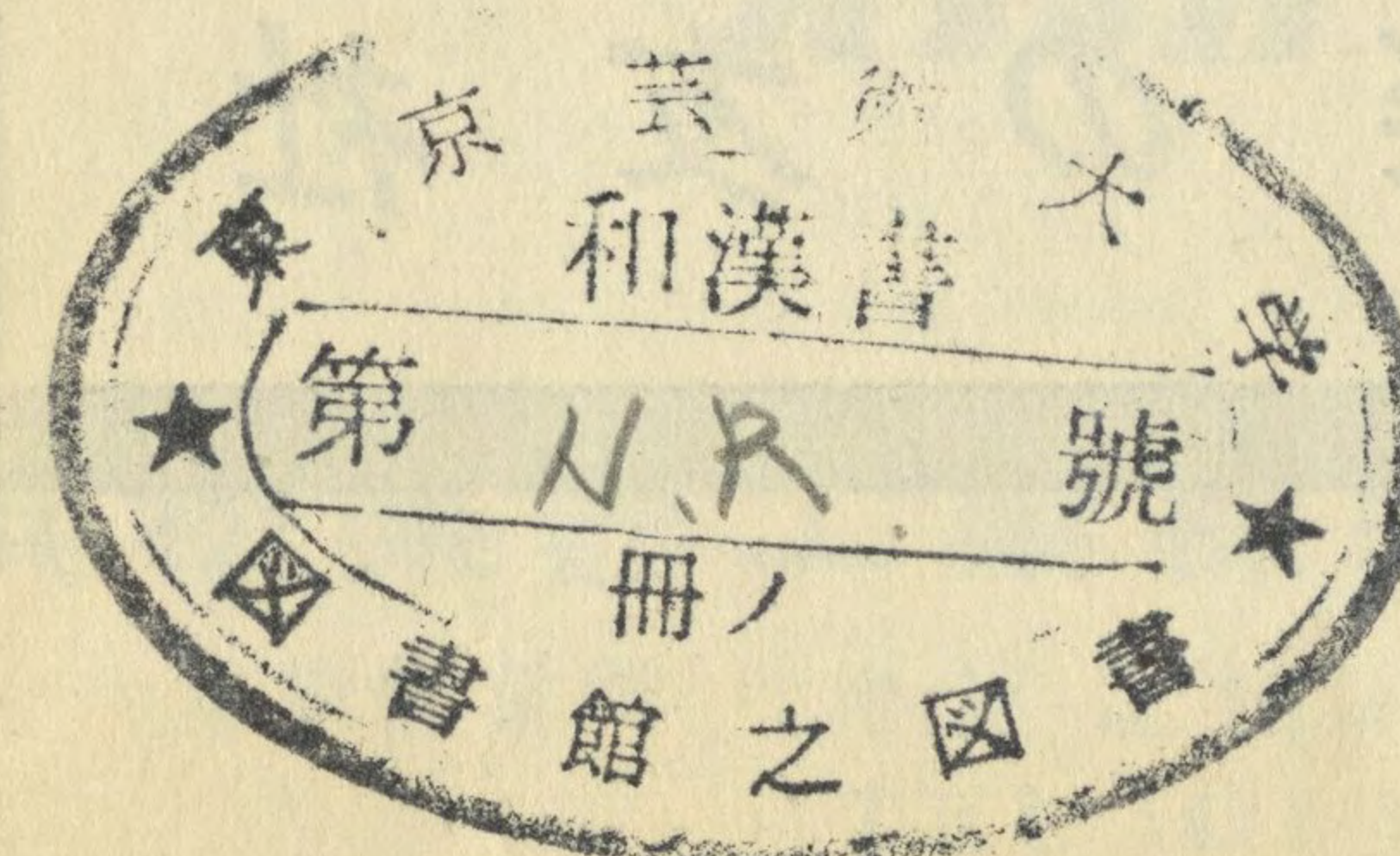
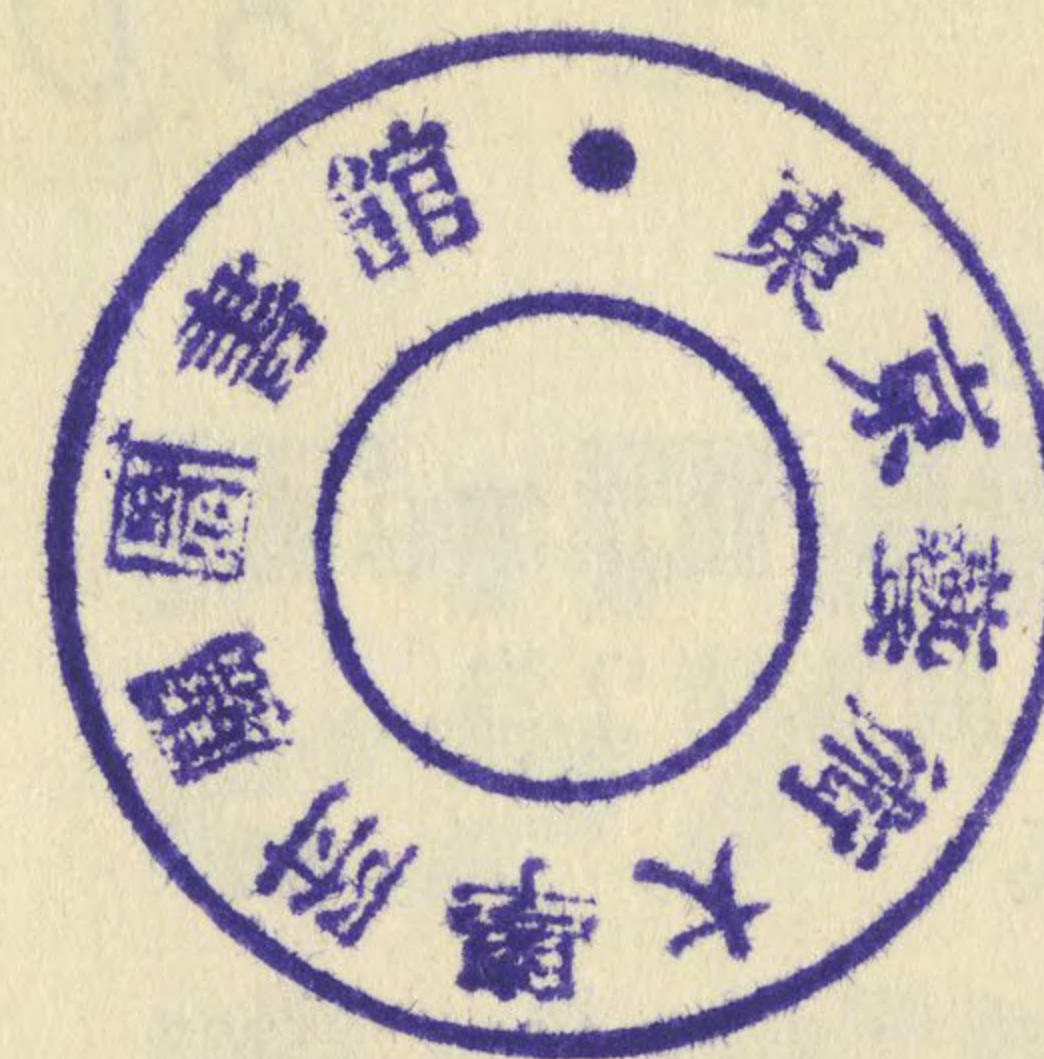
第三回芸術祭に際して

ピアティゴルスキー氏来学の時にいわく「音楽家は、指のみを大切にしなければならない。何となれば、指には、頭脳も心臓も無いからだ」と。画家にも同じ事が云えるでしょう。指は或はキイをたゞき、或は絵具をこねても、頭脳と心臓は我々すべてを通じて変わりません。

音楽・美術合同の芸術祭も三年目を迎えました。此処に私達は日常の勉強の結果を、存分に披瀝し合うと共に、全学をあげて楽しみ、お互いの人間的な結び付きを強いものとして、新しい芸術に志ざす共同の力を一層推し進めようと思うのです。

陽光に照らされた此のさわやかな季節に、私達は一年の成果を、御来場の皆様の批判と助言とによつて、一層実り多いものにしたいと思います。

東京芸術大学芸術祭運営委員会



377.9
G
3



シマの前に新しく
開店致しました

上野松坂屋裏

豪華華麗な大殿堂！

金馬車

昼夜専属バンド演奏

- 原孝太郎と東京六重奏団
- 北村維章とその楽団
- 坂本政一とオルケスタ・ティピカ・ポルテニア

純喫茶 1・2階
バー 地階

TEL (83) 3752, 7605

●シマ TEL (83) 2602



シマ

名曲珈琲店



世界大音楽全集

器楽50巻 声楽30巻 全80巻

- 第3次予約募集 期間 10.15-11.30
- 11月配本

器楽 第9巻	ベートーヴェンピアノ曲集第3巻
器楽 第35巻	ポピュラーピアノ曲集第2巻
声楽 第20巻	フランス歌曲集

音楽の友社



ディアパゾン ピアノ オルガン

浜松楽器工業株式会社

東京営業所 港区芝田村町5
TEL (43) 1269

日

程

CMM

4

5

6

7

8

作品発表

3

4

5

6

7

8

学響コンサート

演

劇

ダンス

▶ ダンスパーティー

学部食堂前

美術学部講堂

3

4

5

6

7

8

吹奏楽
演奏会

演

劇

人形劇
第一講義室

▶ 仮装ダンスパーティー

論 美術学部講堂

美術学部講堂

3

4

5

6

7

8

9

学響コンサート

演

劇

第一講義室

▶ ダンスパーティー

美術学部食堂前

美術学部講堂

パンダン展・写真展・模擬店・喫茶店

下さい。

協力下さい。



シマの前に新しく
開店致しました

上野松坂屋裏



シマ

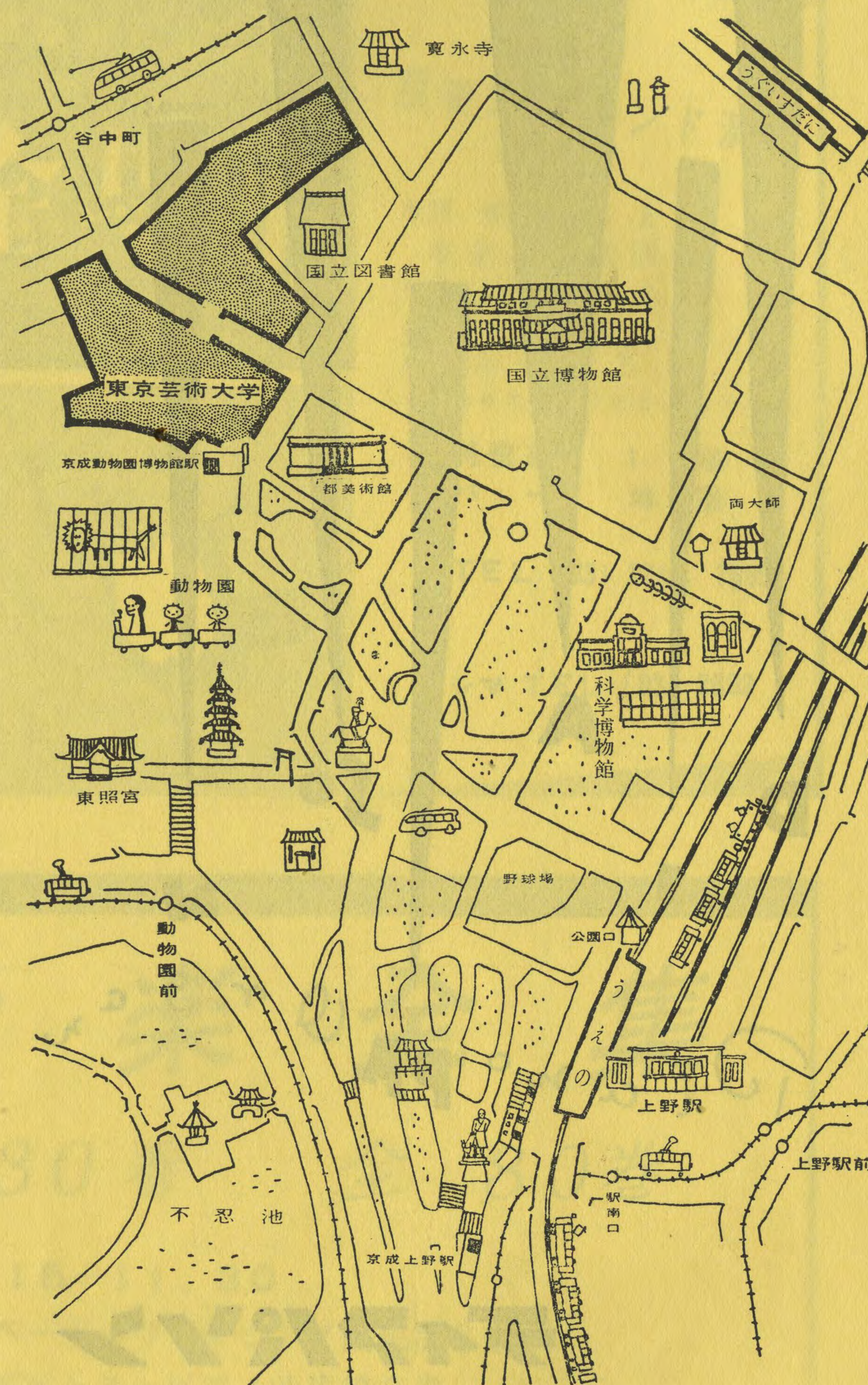
名曲珈琲店

世界大音

器楽50巻 声楽

●第3次予約募集 期間 10月1日～10月31日

●11月配本 器楽 第9巻
器楽 第35巻
声楽 第20巻



国電 上野駅（公園口）より10分
都電 上野駅前・駅南口より13分
地下鉄 上野駅より13分
トロリーバス 谷中町より3分
京成電車 動物園・博物館駅より2分

芸術祭日程

		am10	11	12	pm1	2	3	4	5	6	7	8
1日	奏楽堂	学響総練習 (学内学生のための)			コーラス		作品発表					
	他											
2日	奏楽堂			吹奏楽演奏会	コーラス	学響コンサート					演劇	
	他					▶フォークダンス 美術学部食堂前					▶ダンスパーティー 美術学部講堂	
3日 (祭日)	奏楽堂		バロック音楽		声楽コンサート	コーラス	吹奏楽演奏会				演劇	
	他				▶フォークダンス 美術学部食堂前		▶人形劇 第一講義室				▶仮装ダンスパーティー 美術学部講堂	
					▶講演と討論		美術学部講堂					
4日 (日曜)	奏楽堂		邦楽演奏会				学響コンサート				演劇	
	他				▶人形劇	▶人形劇 第一講義室					▶ダンスパーティー	
							▶フォークダンス 美術学部食堂前				美術学部講堂	
1・4日												

- 奏楽堂に御入場の際は必ずこの芸術祭案内を御持参下さい。
- 催物により整理券を出す事があります。係の要望に御協力下さい。

音楽学部演奏会 於 奏楽堂

芸大コーラス発表会

11月1日 1.30 p.m.
11月2日 1.30
11月3日 2.00

指揮 声楽2年 金谷良三

1. 故郷の人々
2. ケンタッキーの我が家
3. 主人の冷き土の下に
4. おゝ スザンナ
5. オールド・ブラック・ジョー

今年は、フォスターのものばかりを集めてみました。この芸大コーラスは、美術学部の学生ばかりで編成されています。

声楽コンサート

11月3日 1.30 p.m.

1. 歌劇「マルタ」より 二幕（四重唱）
歌劇「リゴレット」より 三幕（四重唱）
声楽科3年
ソプラノ 唐木暁美 テナー 伊津野修
アルト 浅野久子 バス 中村順一
ピアノ伴奏 中島国治
2. ヴォルフの歌曲 Verborgenheit（隠遁）外4曲
独唱 声楽科4年 山本 敬
ピアノ伴奏 水本雄三

作品発表会

11月1日 2.30 p.m.

1. 脇 則之 歌曲詩集「雪明りの路」伊藤整作より
1. 夏の終り
2. 瓜 姫
3. その夜
4. 春の夜
5. 林檎園の六月

2. 猪本 隆 ヴァイオリン協奏曲
ヴァイオリン 市原利彦
ピアノ 井沢 利

3. 柳田育秀 男声四部合唱「沼」山村暮鳥作より
声楽科有志

4. 兼田 敏 ファゴットと弦楽四重奏の為の
小協奏曲
演奏 中川良平他

5. 南 弘 明 子供の為のバレエ曲（ピアノソロ）
「シャボン玉のファンタジー」

6. 加藤 徹 ヴァイオリン奏鳴曲
ヴァイオリン 原 博
ピアノ 加藤 徹

7. 金光威和雄 「電気操作を用いたオスティナート」
演奏 テープ・レコーダー

吹奏楽演奏会

11月2日 0.00 p.m.
11月3日 3.00

1. プレリユード リスト
2. ホルン協奏曲第2番 モーツアルト
3. フィンガルの洞窟 メンデルスゾーン
指揮 山口 治

学響コンサート

11月2日 2.15 p.m.
11月4日 3.00

1. 「魔弾の射手」序曲 ウェーバー
2. 「動物の謝肉祭」 サンサーンス
1. 序奏と獅子の壮厳な行進曲
2. 牝鶏と雄鶏
3. 野馬
4. 亀
5. 象
6. カンガルー
7. 水族館

8. 長い耳の名士達
9. 森の郭公達
10. 大きな鳥かご
11. ピアニスト
12. 化石
13. 白鳥
14. フィナーレ

指揮 武田善夫
ピアノ 米田曜子
神西敦子

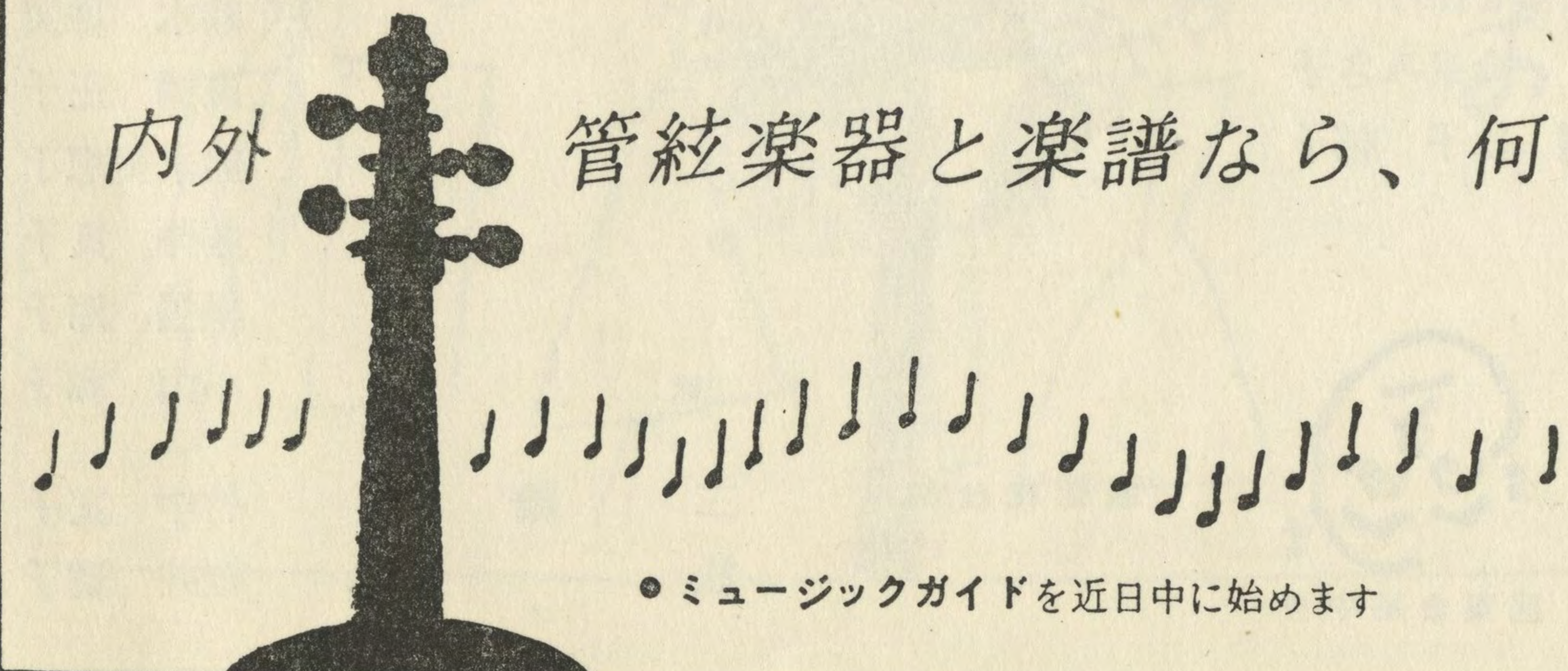
3. 交響曲 第14番へ長調「ジュピター」
モーツアルト

- 第1楽章 アレグロ・ヴィヴァーチェ
- 第2楽章 アンダンテ・カンタビレ
- 第3楽章 メヌエット、アレグレット
- 第4楽章 フィナーレ、アレグロモルト

4. オーケストラのための組曲第2番「昼の音楽」
ーロッシーニによるー ブリッテン
1. 行進曲
2. ノクターン
3. ワルツ
4. パントマイム
5. 無窮動

指揮 山本直純

内外 管絃楽器と楽譜なら、何んでも揃います



銀座4丁目の

山野楽器店

TEL (56) 4715 4735

●ミュージックガイドを近日中に始めます

バロック音楽演奏会

11月3日 11.00 a.m.

第1部 合奏

1. フーガ ト短調 (編曲 松原 茂) バッハ
 2. 歌劇「アーサー王」組曲 (編曲 ハーベイズ) パーセル
 3. 合奏協奏曲 イ短調 作品3の8 ヴィヴァルディ
 4. フリュートと弦楽の為の組曲 イ短調 テルマン
 5. カンタータ第54番「罪にむかいて抗せよ」 バッハ
- フルート 高橋成典
アルト 中野靖子
弦楽合奏 1・2年有志
コンティヌオ 松平郁子
指揮 松原 茂

第2部 オルガン独奏

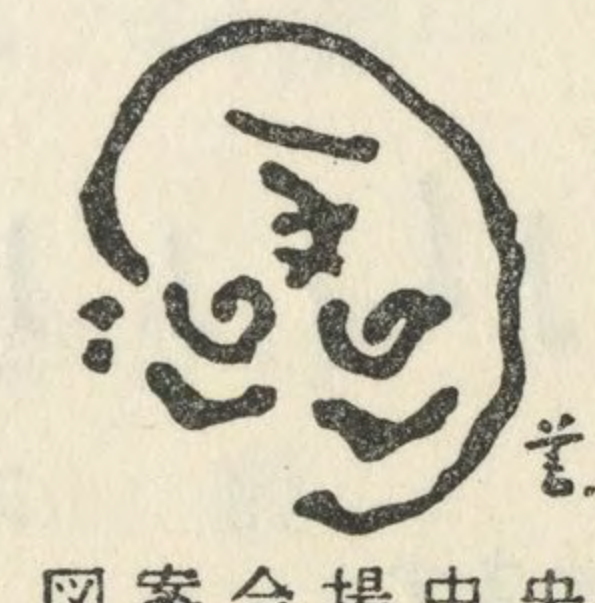
1. ブクテフーデ プレリユード・フーガ ト短調 原田 房子
2. バッハ プレリユード・フーガ ト短調 山本 照子
3. バッハ ヴィヴァルディによる協奏曲 イ短調
衆議前奏曲 (オルゲルビューヘラインより)
a 神の独り子なる主キリストよ
b おゝ人よ、汝の罪の大いなるを泣け
今泉みさ子
4. バッハ オルガンソナタ第5番 ハ長調 松平 郁子

図案科喫茶室



TEA ROOM

どん



図案会場中央

邦楽演奏会

11月4日 11.00 a.m.

- 宝生流仕舞 高 砂 当山 興道
富士太鼓 細野ヒロミ
- 山田流箏曲 ひぐらし 本手 矢部 昭子
替手1 真鍋 恭子
替手2 小沢 貞
- 生田流箏曲 八千代獅子編曲
唄 齋藤 康枝
田中 孝子
山崎千津子
第一箏 山腰 俊子
第二箏 田仲 正子
岡野 容子
渡辺 玉子
佐藤 茂生
十七絃 白根きぬ子
三絃 土師 慶子
宮坂 早苗
- フルユート 松 風 月岡 祥子
- 観世流舞囃子 松 風 月岡 祥子
- 山田流箏曲 寿くらべ
唄 鈴木 珠美
高橋 正子
鈴木美恵子
藤井 良子
横張 節子
小山 和子
- 箏 竹中 宣子
三絃 福井 道子
- 観世流仕舞 三 輪 虫キリ
三 松
- 宝生流連吟 小 督 シテ(仲国) 宝生 公恵

ツレ(小督) 長谷川ふく
ツレ 井上 和子

三味線

森尻千鶴子
関 毅
柿沢実津也
吉井佳代子
横山 信子
小屋敷アサ子

上調子

生田流箏曲

虫の武蔵野

唄

齋藤 康枝
松浪 貞子
白根きぬ子
田仲 正子
山腰 俊子

箏

三絃

長 唄

靱

猿 明治2年 杵屋勝三郎作曲

唄

宮田 哲男
吉住 隆雄
松田 全代
杉浦 弘晏
中川 昇一
高橋 陽子

三味線

上調子

唄

鈴木 輝子
本多 貞子
福山 公子
町田いさ子
今井 君子

美術学部 展覧会

- 油画科作品展
- 日本画科作品展
- 彫刻科石井教室作品展
- 彫刻科菊池教室作品展
- 図案・図計・工芸計画科 "デザイン展"
- 漆芸科 "漆工展"
- 金工科 "金工展"
- 建築科展
- 芸術学科作品展



各種催物御案内

演劇研究部公演

「探偵物語」

三幕 キングスレー原作
菅原卓訳

日時・2・3日午後5時
4日午後6時

場所・奏楽堂

●スタッフ

演出 高杉治朗(図2)

助演出 中村寛一(建3)

舞台監督 中村寛一(建3)

舞台装置 笠木茂(油2)

同助手 安東早苗(図3)

●キャスト

ディキス刑事 石原昭彦(影1)

万引女 岡倉淳子(油2)

ガラガー刑事 半田浩也(油1)

ミセスファラガット 新谷順子(図1)

新聞記者ジョー 金子修也(図1)

カラハン刑事 的埜教介(建2)

オプライエン刑事 長久雄(金3)

弁護士シムス 笠木茂(油2)

小道具 石原昭彦(影1)

照明 安田正信(漆2)

同助手 岡庭正行(図1)

衣裳 塚谷淳子(油3)

音楽効果 佐藤陽三(2)

同助手 上原久子(芸2)

モノガン主任警部 三水篁(芸3)

スーザンカーマイケル 立花久美子(建2)

キオー巡査 松本俊郎(声2)

掃除夫ウィリー 高杉治朗(図2)

ミスハッチ 松村伸子(声2)

ミセスフィネイ 後藤朝子(声3)

ミスターフィネイ 前野堯(建3)

虫つけら 小川慶一(図3)

ミスターガラランツ 草野勝祝(油4)

マクリオッド刑事 直江博史(芸3)

アーサーキンドレット 長田充正(図1)

黒人バーンズ巡査 寺島稔(油1)

強盗チャーリー 小川一衛(図2)

強盗ルイス 彦根範夫(図2)

強盗に襲れた女 橋本多紀子(図1)

医師ジュナイダー 長塚安司(芸1)

ミスターブリチエット 大松義典(図2)

メリーマクリオッド 伯田典子(楽2)

タミージャコベッティ 宿輪哲也(図2)

写真師 進藤蕃(油専)

婦人 蔵野幸子(声2)

紳士 松本恭輔(図2)

その他

人形劇サークル第二回公演

「ピエロ」

モーパッサン作

日時・3日午前11時
4日午後1時

場所・美術学部第一講義室

演出 北畠耀(油2)

演出助手 野田牧史(影3)

装置 川井康子(図2)

照明 野田牧史(影3)

人形製作 松本薫(図2)

井浦せい(日3)

衣裳 米原明美(油3)

音楽・効果 川本伸子(声1)

赤羽由紀子(楽1)

舞台監督 関口正子(日3)

●配役

ルフェーブル夫人

太宰徑子(楽1)

女中ローズ

山本富士江(楽1)

その他 渡辺明義(芸1)

櫻村静子(日3)

語り手 田中拓雄(油2)

●ルフェーブル夫人は

例話をさせると無教

養が丸出しにわかるが滑稽に勿体振る田舎奥様の一人で

ある。彼女のけちんぼうと慈悲心とは丸でシーソー遊びを続け、その悲喜劇は無力な小犬のピエロにふってかかる。彼は術なく呪いすらなく穴の底深く飢えを訴える…。

芸大アンデパンダン展

日時・1日～4日

会場・美術学部本館第七講義室

何となく描いたままにしてあった絵や彫刻、全く自分のためのエチュードとして作った作品等の中にも、非常に愛着を感じ日の目を見せたいようになる様なのがよくあります。また、自分の専門以外の作品などを気軽に発表する場として今年もアンパン展の会場を作りました。

芸術学科・新聞部共催

講演と討論

日時・3日午後1時

場所・美術学部講堂

題目 「現代社会に於ける美術家の役割」

講師 岡本太郎 瀬木慎一

難波田龍起 花田清輝

芸術学科スライドの会 2・4日 午後1時

3日 午前11時

“ミケランジェロ” “クレー” 美術学部講堂

ダンスパーティー

日時・2・3・4日午後5時

場所・美術学部講堂

踊れる人は勿論、踊れない人もみんな気軽にいらして下さい。ダンスを通して一つの楽しい雰囲気を作りましょう。なお3日は仮装パーティ。ドミノは正面入口でお届けします(一つ20円)

フォークダンス

日時・2・3・4日午後1時

場所・美術学部食堂前広場

指導はコロンビヤ専属の似鳥先生。なんにも知らない人でも似鳥さんの巧みな指導でたちまちフォークダンスの楽しさを味わうことができます。さあ、一緒に輪になって踊りましょう。

喫茶・模擬店

●図案科の喫茶店「ドン」

●芸術学科喫茶室

●トランペットセクションの「音楽喫茶」

●音楽学部 コーヒー店

● すし屋

● 軽食



星のマークで
80年………

ニッポンビール

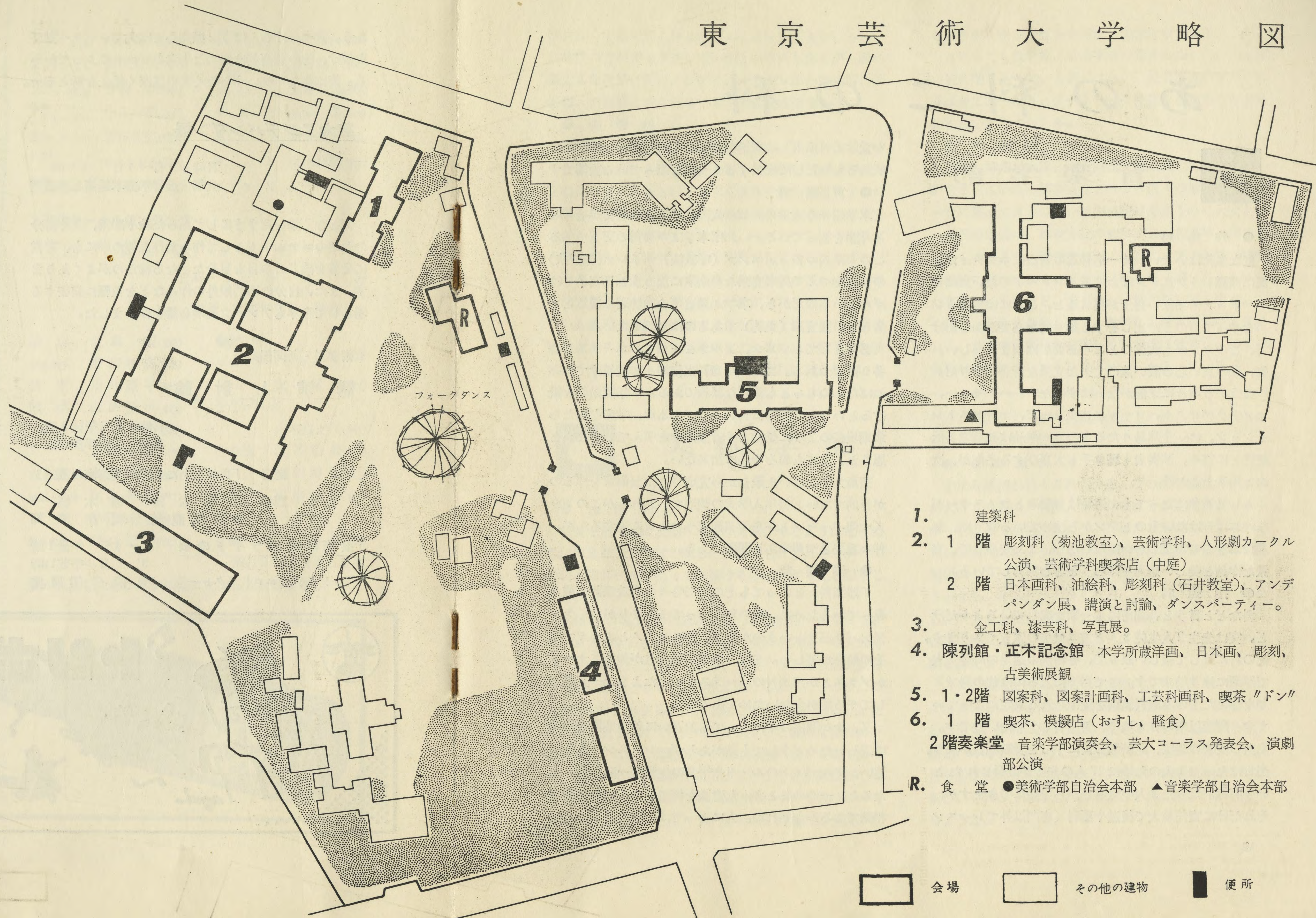


ドンボ アコーディオン

秋のリズム

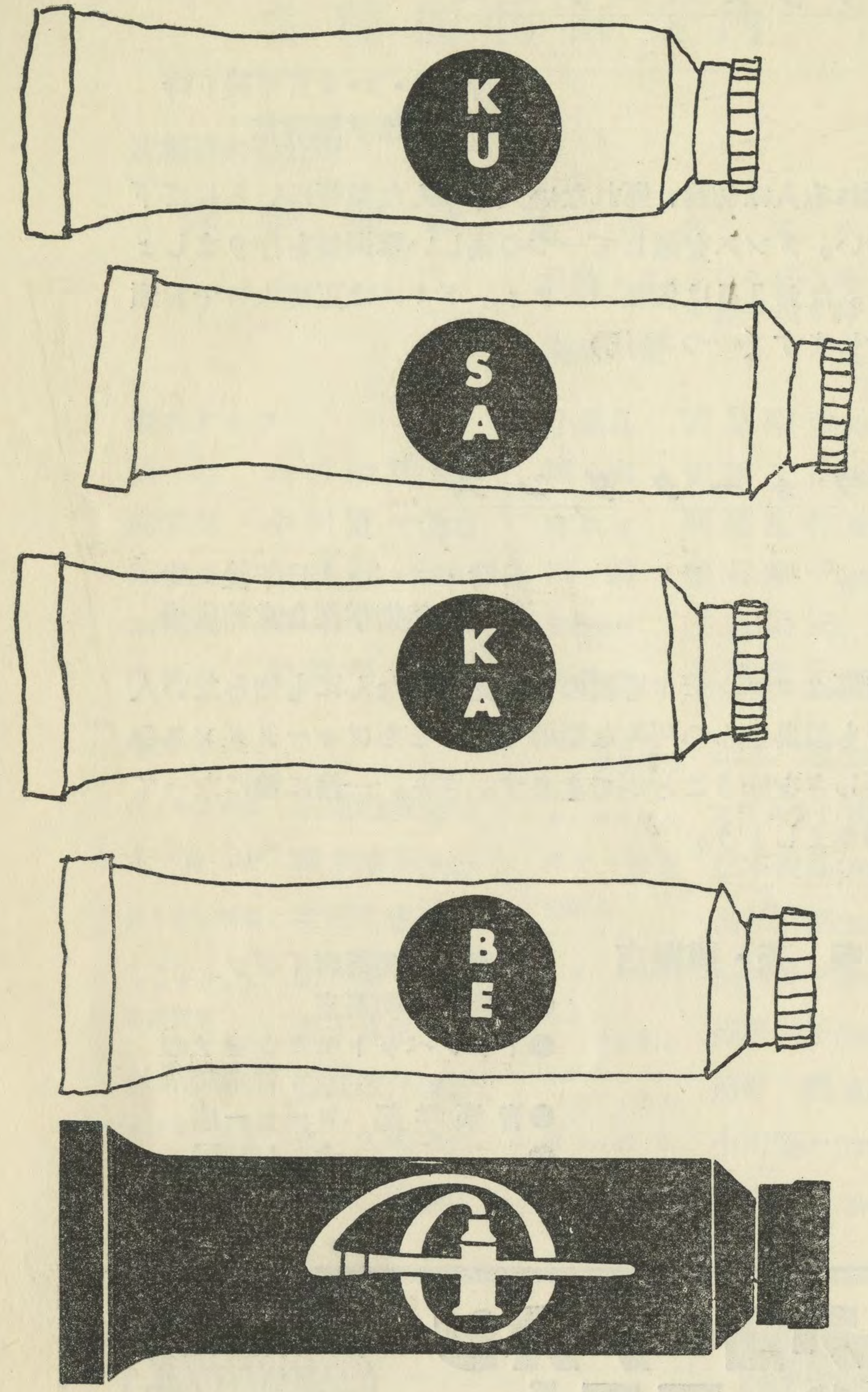
株式会社 トンボ楽器社

東京芸術大学略図



- 1. 建築科
- 2. 1 階 彫刻科（菊池教室）、芸術学科、人形劇カークル公演、芸術学科喫茶店（中庭）
2 階 日本画科、油絵科、彫刻科（石井教室）、アンデパンダン展、講演と討論、ダンスパーティー。
- 3. 金工科、漆芸科、写真展。
- 4. 陳列館・正木記念館 本学所蔵洋画、日本画、彫刻、古美術展観
- 5. 1・2階 図案科、図案計画科、工芸科画科、喫茶「ドン」
- 6. 1 階 喫茶、模擬店（おすし、軽食）
2 階 音楽堂 音楽学部演奏会、芸大コーラス発表会、演劇部公演
- R. 食 堂 ●美術学部自治会本部 ▲音楽学部自治会本部

会場
 その他の建物
 便所

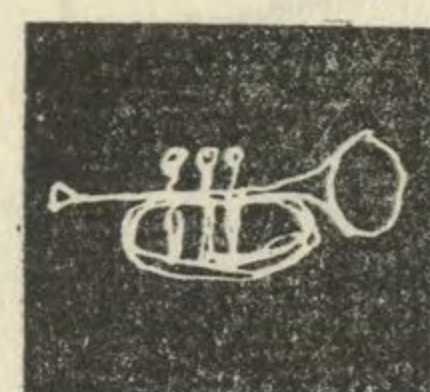


クサカベ 油絵具

クサカベ油絵具製造株式会社
TEL (95) 1121-3

クサカベ専門家用油絵具・解油・ヴァニス・地塗用油絵具・習作用油絵具・油絵具セット・ニュートン・ルフラン油絵具画材輸入元

あの科この科



音楽学部

● 作曲科

変な生徒はいない。皆一応普通の背広にネクタイだ。偶に開襟シャツにゲタばきのスタンダードでない又はオーソドックスでない勇士が現れると、これには資金カンパをやって質のうけ出しをする絶対的な必要があるわけで、このカンパも大体のところ必要額は集まるらしい。皆、頭の良い心の暖い体の丈夫な立派な若者ばかりだ。こういう我々に才能がないはずはない。ハーモニー、コントラプункト、フーガ、アナリーゼ、オーケストレーション、etc. 全然易々たるものさ。作品は独創性と伝統性とに富み、演奏者も聴き手も大喜びする名作が、次々と出来上るわけ。

もし又戦争になっても、遠足は自動車とウィスキーがなければ行けないものとテンから決めている我々に、無理な事をさせる気づかいはないから、まあ安心して、立派な作品と美しい恋人を作ろうと専心努力している。

● 指揮科

科などと言うと、如何にも一家を成しているようだけど、実は先生2人生徒2人と言う最小の家族であります。他の科に比して寂しい限りで、各科別の遠足の時等1人で路頭に迷う始末です。さて指揮に入るには他の科で2年を修めた者のみ転科試験を受けられる規定になっています。創設以来の日も浅く、希望者も少ない様です。私共の受験の時は、試験数日前にやっと受験種目が決り、当日はたった1人のために17人の先生が動員されたという有様。たった2人の気易さから気儘にできますが、それだけに責任重大で後進や副科（専門以外でレッスン

を受けている人）の方達のためにも、是非、この科が権威あるものとして成長するようにと願っている次第です。

● 声楽科

本学随一の大世帯。300人に達する善男善女がせっせと月謝を払っている。いわば本学は声楽科の天下であるこの300人の各々がポンプ（呼吸法）サイレン（発声法）の修練をつんで将来立派な声楽家になろうと日夜？はげんでいるのだから、本学が御近所の動物園に優るとも劣らない騒音源（失礼）であるのは無理もない。

必修としてレッスン、ソルフェージュ、コーラスが各々2回ずつある。これが声楽科生徒が4年間続けて修めねばならぬもっとも重要な課程である。4年間勉強を続けるという事は非常に長いようであるが、学窓を出たら最期現在のように気持よく音楽だけを学んでいらないと思うと、とてもおろそかに出来ない。

芸術大学とはいえ最初から完成された芸術家を作るのが目的でないで毎年入学式の演説でいわれるがこの300人中何パーセントが真の芸術家への入口に達するかが、仲々重要且つ興味ある問題である。

● 器楽科

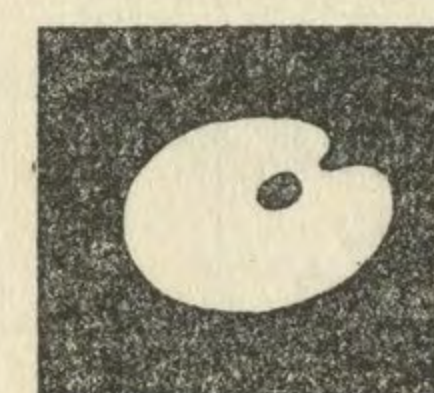
「器楽科」といってもその中で各々の専攻楽器が種々異っているために、他の科と違ってまとまりがなくテンデンバラバラというのが実状。特にピアノとオルガンはその傾向が著しい。やはり楽器の独立性が強くてオケとかブラスとか声楽科のコーラスといったような一致協力してやる面が少ないためであろう。

又、オケ関係の中にあってもお互いに他の楽器の知識に乏しいためどうしても話があわず、レッスンの先生が違い、アルバイトのルートや平常の生活も一致しないとなると、一つのまとまった意識を持てという方が無理な相談であるかも知れぬ。人によっては一頃のように人数

は少なくともピアノ科とかヴァイオリン科とかいっていた時代の方がすっきりしていたという人もあるが、誠に御尤もな次第。現在、ピアノ、オルガンから弦楽器、管楽器、打楽器まで合わせて231名の大世帯である。

● 楽理科

楽理科という科はどうも性格が薄い。作曲科などというと簡単に傾く人が楽理科というと「将来どちらの方へ」とのたまう。音楽というとすぐ演奏や作曲を連想するがそれらが成立する根本的問題は音楽学にある事いうまでもない。それを専攻する私達は、それ故べらぼうに学ぶべき事が多い。来年こそは時間数が少なくなるだろうと思いい乍ら、毎年他の科の2倍以上の時間数に苦しめられて4年間を過してしまう有様。S君が「我苦里カ」といったのも無理はない。学校で「見なれぬ女性を見たら楽理科と思え」という言葉が通用しているのは、廊下を無駄に歩く暇さえない程忙しいから。楽理科は孤立している



美術学部

● 油画科

風景を描く為に現場へ出掛けて制作するようになったのは印象派以来の事である。弁慶の七ツ道具さながらに油画の道具一式を担って出掛けるのはハタで見る程楽じゃない。

油画科とは、その因果が止められない連中が集っているクラスである。各学年40名、美術学部随一の大世帯だ。此の渦巻ける矛盾の集合、宜敷く言うなら創成期の混沌たる状態そのもの。後世に輝ける恒星の一つや二つ生まれない訳もあるまい、と思うのも可能である。と先ず大風呂敷を拡げて現実に眼を転ずると惨めな気持ちに下落するが、これは理想高きが故に必然に生じる事であって、ここで「芸術は長く人生は短かし」と深刻な顔でもするとびったり来る。だが、油画科について他の言い方もたくさんあることだろう。おそらく油絵科の全員の数

というが、そうせざるを得ない現状なのである。

といっても批評家、音楽学者の卵達は決していつも固い殻に閉じ込まっている訳ではない。見合写真がカバンに忍ばせてあったり、デートの為に授業をさぼることも珍しくないんですからネ。

● 邦楽科

長唄、箏曲（生田、山田両流）能楽（観世、宝生両流）が含まれている。演奏会などはこの色々の種類のものを一堂に集めて行うので一般邦楽情緒を味うのに大変よい。普段の勉強は、専攻実技の他に楽典、和声等、畑のちがうものがあり、苦勞である。それにピアノと言う難物も試験に入れているので、今まで「ボン」ともひいた事のないものなど、涙ぐましい努力を必要とする。

年々、新入生の数もふえ、勉強にも活気が付いて来ている。日本の古典芸術を楽しく有意義に勉強し、邦楽の発展のために少しでも役立てれば、と思っている。

だけ。何百分の一かの油画科は以上の如しです。兵隊の位になおすと何の位かな？

● 日本画科

十代の抵抗が云々されている。その形が粗野で身ぶりが大げさの故に。成程人類の存在はその抵抗するエネルギーを以って証明出来よう。一自然と歴史に対する一、しかし現代はあまりにも近視眼的で功利的で目先の利害関係にのみ圧力を感じている。だからすぐに効果を見ようとする。身ぶりが大きくなる、ポーズの為にポーズする、歴史も自然も団体客を迎える劇場と化されている。古典に触れよう、歴史を直視しよう、古人と共にその悲願を訴えよう。

吾々の仏像を刻んだ人々の血液は、今も吾々の体内を流れている。母達はこの上に吾等を生み落す、敬虔な心をこめて、平和に生きよと。吾等は辛うじて筆を持ち、創造への時を与えられた。悲願への自由が与えられた。吾等は学舎に日本画を学ぶ。美事な日本画の為にでなく、新しいそれのでもなく、真実吾等と共に在ることを欲するような。

● 彫刻科石井教室

石井教室と言うと、仏様か神様の寄り集りのように思われている。然し実際は全く異っている。勿論一部には誤解を招くような節もないではないが——みんなに思われているように堅苦しい空気ばかりでなく、自由で朗らかで、馬鹿気た事も多くある。然し勉強に対してはみんな真剣に取り組んでいることは事実だ。何しろ僕等は芸術家を目指しているのだから。とすると暗くみられがちな僕等の教室にも良い雰囲気がある。その良い特長こそこれからの僕等が盛り上げて行くべき問題である。

● 彫刻科菊地教室

先ず一年生は非常に元気で勉強家が揃っています。その中に紅三点。本当に楽しそうです。出席率優。

二年生は色々形容詞のつけ方を考えるのだが、彼等が言うには、必ず世界の美術史を書き替えさせるとか、そういう意味でモクモクとひたすら熱中しています。中に野菊の如き紅一点あり。欠席率可。

三年生はまとまったクラスで、粒が揃い、先生方も嘱望されているそうです。これは紅一点のいないせいでしょうか。出席率秀。

四年生は天真ランマン、各人個性に富み、先生方から嘱望はされていない迄も、各自が皆自信を持ってやっています。紅一点あり。欠席率優。

研究科の皆さんはイタリア彫刻の崇拜家揃いで、いい仕事をしています。紅一点あり。出席率優。

教官室、副手諸兄は天地無用の方々。先生方は大変熱心に皆の勉強を指導して下さいます。出席率やゝ良好。

まあざっとこんなフンイキです。

● 図案科・図案計画科

「ゲイダイズケイカに合格す」その返信「絵かき志望の君ジェイタイとは驚く」

一年前図案科は工芸計画科と合併、図案計画なるゴツイ名が生れた。要するに近代的意味を持つデザインなる言葉に日本語が追いついていけないのである。

1年に入ると上級生のハダカ踊りに迎えられる。主に食堂に登校しながら成長。2年位になると、体つき目つ

き等すっかり図案科らしくなる。グレン隊風の弱そうなのが銀座上野辺をうろついてたら図案科の奴と見てよい3年は集団でよく映画など行く。最近丹下左膳、ドクロ銭など見た。女性は品がよく同行せずオシルコヤなど行くが、むしろ最も好きなのはラーメン・ギョーザ等のようだ。4年になって送別会に無形文化財級に上達した踊りを舞って学校を出て行く。かんじんの勉強の方はどうなのかと御心配な向は、是非会場へ。真価はそこでみて欲しい。**ボンボンボン**、芸術祭の御観賞は美しい会場充実した内容のデザイン展へどうぞ……

● 工芸計画科

産業デザインを専攻する私達は研究対象が極めて多く、造形のあらゆる表現に関心を持ち、自ら経験し、学ぼうと努めています。従って作品は多岐にわたりますが、それはあくまで発展への過程、研究的試みであって、これを世に問うといった程正面切ったものではありません。しかし産業デザインは、常に対社会という要素が考慮されねばならず、その解決もあいまいであることは許されません。それには生活に対する深い配慮と、造形としての優れた表現への追求が常に要求されています。

〃形〃は単なる外見のおもしろさではなく、私達の社会への対決の具体的な表われでなければなりません。その意味で私達の作品の語るものは、不断の創造への熱情と、人間生活に対する誠意でありたいと思います。

此の、私達のデザイン活動は、何一つ条件の揃っていない中にありながらも、常に真摯な態度で積極的に進められています。

● 漆芸科

今度図書館裏の本部の2階（旧芸術学科）に移転。ここ数年新校舎が建つ迄、仮住いすることになりました。新しい（といっても落書するスペースももはやない位多様な壁画づくし）教室から、これ迄使ってた漆芸部の校舎がとりこわされて行くのを眺め乍ら、オブジェにパネルに乾漆にと各人様校制作しております。1、2年は造形一般、3、4年は自由制作で、漆を中心にどんどん生まれてくる広範囲の新材料（プラスチック、化学塗料、合

成木材等）の認識とそれらを制作に供しています。アトリエは仕事の性質上小室で、蛍光灯もつき放課後も自由に使えますので、心がけ次第では学校をフルに制作の場とすることが可能です。心がけというのは材料を探しデザインし自分の手でそれを造り上げる訳で自主的な態度でのぞまないと当科では何も手つかずに過ぎてしまう結果となります。現代に問う作品を作るには、旧来の伝統に溺れずオリジナルな眼でこれを究めることが、我我に必至な問題だと思えます。

● 金工科

〃現代人は金属に囲まれて生活しながら金属の美しさを知らない様です〃、と吾々は言います。そこで吾々は皆様に金属が思いの外美しいということをお見せ致しましょう。これが吾々金工科の仕事なのです。吾々の仕事は一品制作で吾々の手を経ると美術工芸品となるのだそうですが、吾々の仲間には大量生産にも興味を持っている人も居り、それぞれに意見があるようです。

吾々の科は仕事の性質によって三つに分れています。

彫金部→タガネで金属をきたえたり彫ったりする。自分の心も鍛えたり切り捨てたり出来ます。吾々の恋人達はアクセサリーで出ています。

鍛金部→金属を無慈悲にも力一ぱい鍛えます。音楽的です。リズムが技術の有無を決定します。それ故か金属のように素朴で官能的な踊りの犬変うまい仲間がたくさん居ります。

鋳金部→金属を真赤に溶かして型に流し込みます。若き鋳物師の恋は真赤に燃え上るのですが、結果はいつも型にはまってしまいます。

● 建築科

とかく建築科の人はウルサイ。

食堂の前のテラスで5、6人ワイワイと一見芸術論風なY談を斗わせているのは大抵建築家の卵達だ。（モチロンこの限りにあらず。）

というのは、何しろ建築という芸術ミタイ+工学ミタイ+不可思議な代物には、知らなくてはならないことが多すぎる。ピンは芸術論、人生論から、キリは便器の寸

法、一升ビンの高さまで、建築の事丈でも構造、設備、法規、材料、力学、美学、etc. ……頭が痛くなる。

その上、およそ神様の造りあげたモロモロ、その子孫どもが生みだしたゴタゴタすべてに対して広く身についた知識を持たなくてはならないことになっている。

ベラボーメ、神様じやあるまいしと言った所で仕方がない。建築という代物がそういう性質を持っているんですから。カトイッテやっぱ人間には不可能な事だというジレンマに陥った建築の連中の自然に導出した結論がこのワイワイであるらしい。

● 芸術学科

芸術家が現在自分のおかれている立場をたゞ受動的に感覚的に感じとっただけで、極度に変則的に発達し人間一個の生存すらも危くなりそうなこの社会に真に立脚した作品を作ることは出来ない。又、それがなくては創作活動を作ることの出来ない自由も、芸術家が絶えず自分は歴史の流れの中のかなる場所、いかなる状態におかれているのかを明確に理性的に認識し、知ろうと努めているのでなければ、得ることは出来ない。自らの積極的な体験から得られた自由、それを糧とした芸術のみが新しい価値を持つ。我々は言葉のみがあるような理論、形式の変化を新しさと称する形骸のみの作品にはもうあきあきた。若しここに於いて純粋で力強い知性と明確なる方向性とを持たなかったなら、芸術家は無用の徒と化し芸術は亡びなければならないだろう。

我々のやっている理論（美術史、美学等）と実技（油絵、彫刻、日本画）とが裏うちし合いながら過去になかった新しい一つの場を築けばしめたものである。

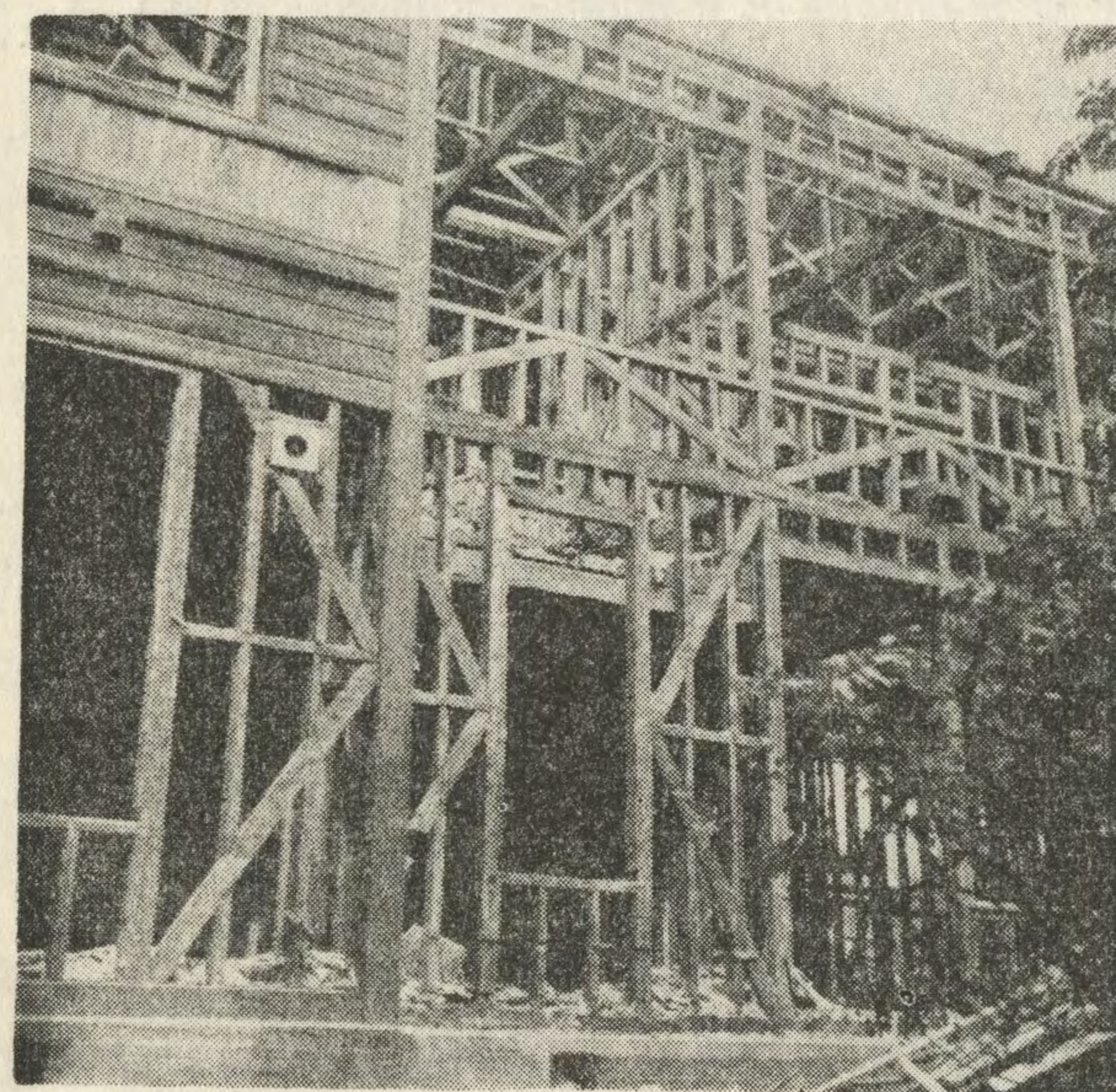


東京・新宿
電話 (37) 0131

紀伊國屋書店

オンボロ校舎は芸大の名物である。暗い廊下、寒々とした雨もり教室、ばか高い天井、汲取り便所、はげたペンキ。だれしもその古さ、汚さにびっくりする。吉田前首相が、美術学校ではない、醜術学校だといったとか。どれもこれも前世紀の遺物なのだから無理もない。

一番古いのは図書館のコンクリート造の書庫と木造の回覧室で明治13年(1880)。書庫は日本最古のコンクリート造で、旧帝国図書館のものが明治41年本校所管となったもの。次が現芸術学科教室で明治18年(1885)これは帝国学士院として使われ、大正天皇も来られたといういわくつき。次は図書館の煉瓦造の書庫で明治19年(1886)、音楽学部本館が明治23年(1890)。その奏



古い建物 新しい建物

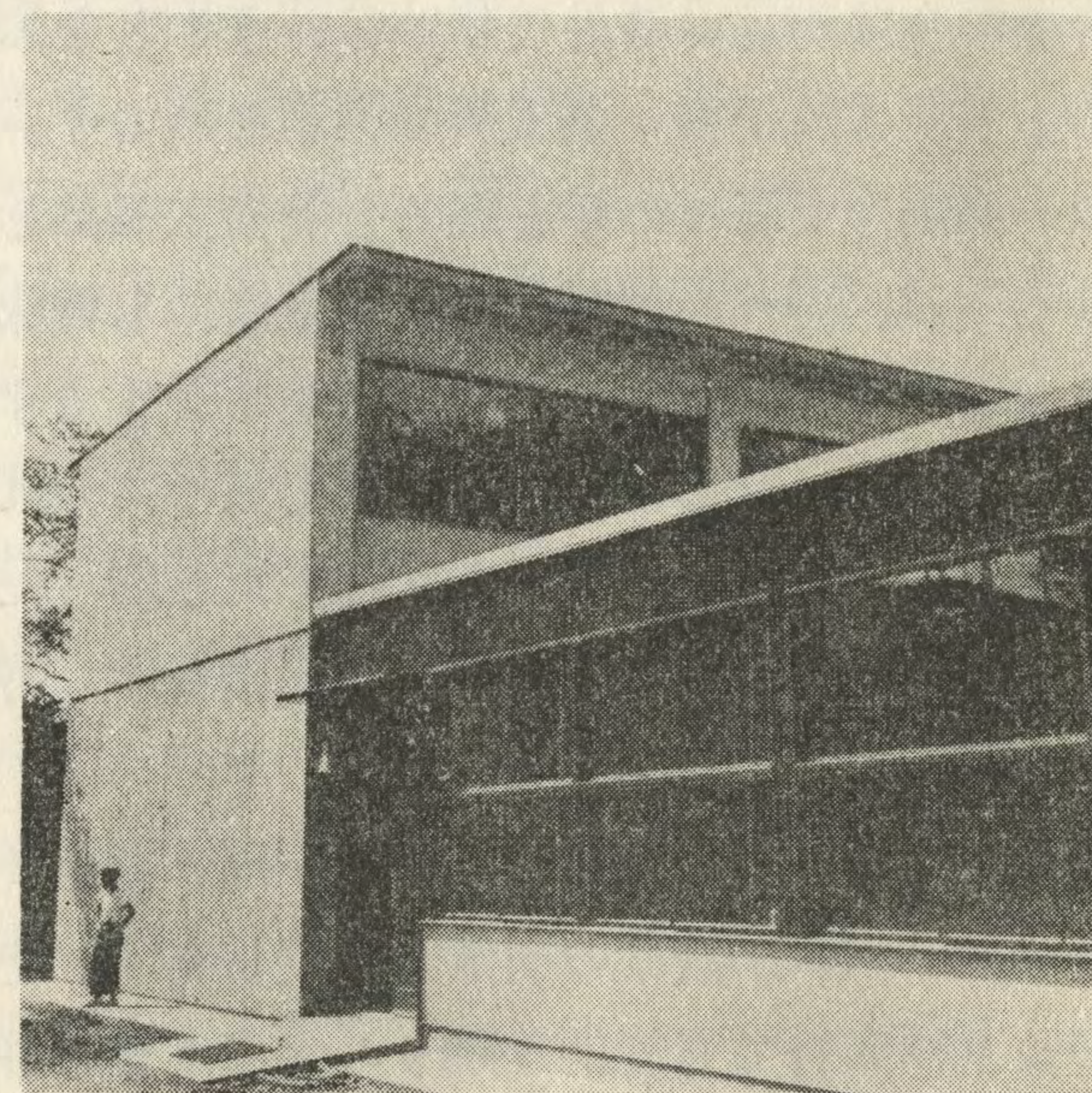
家令80年に近い国宝級建物ばかりの芸大の近代化を計るべく昭和26年「本学建築委」が誕生、本学の衣替えが始った。28年に実施案が完成し、いよいよ29年11月第1期工事として音楽学部本館239坪に着工、昨年7月完成。次いで本年1月金工教室635坪に着手し、この8月に竣工した。金工教室の総工事費は43,516,700円也

音楽学部本館の練習室は音響効果に注意が払われ、殆んど一室毎に異った試みがされているが、今の処どの室がいいという結論はでてないらしい。勿論古い校舎に比べると快適だが、最大の欠点は予算の関係で冷、暖房のないこと。室内はエアタイトになっているので夏は多少の音響的プライバシーを犠牲にしても窓は開けずに

楽堂の音響効果はそのころのものとしてはずばぬけていた由。美術学部図案科教室明治42年(1909)、美術学部本館(絵画・彫刻科教室)が大正三年(1914)とこう並べるとまるで「文明開化」の日本の建築史みたいなもの。家令80年になんなんとする建物がズラリと並んでいる様はチョットした偉観であろう。明治時代をバックにした映画に再三登場するのもこの様な次第だからである。

しかし、震災、戦災に生きのびて来た建物にも、ついに最後の日が来つゝある。今年8月には旧金工、漆芸教室と音楽学部の一部がとり壊された。

「オンボロ校舎よさようなら」の日は近いが、なにか一抹の淋しさも感じられる。

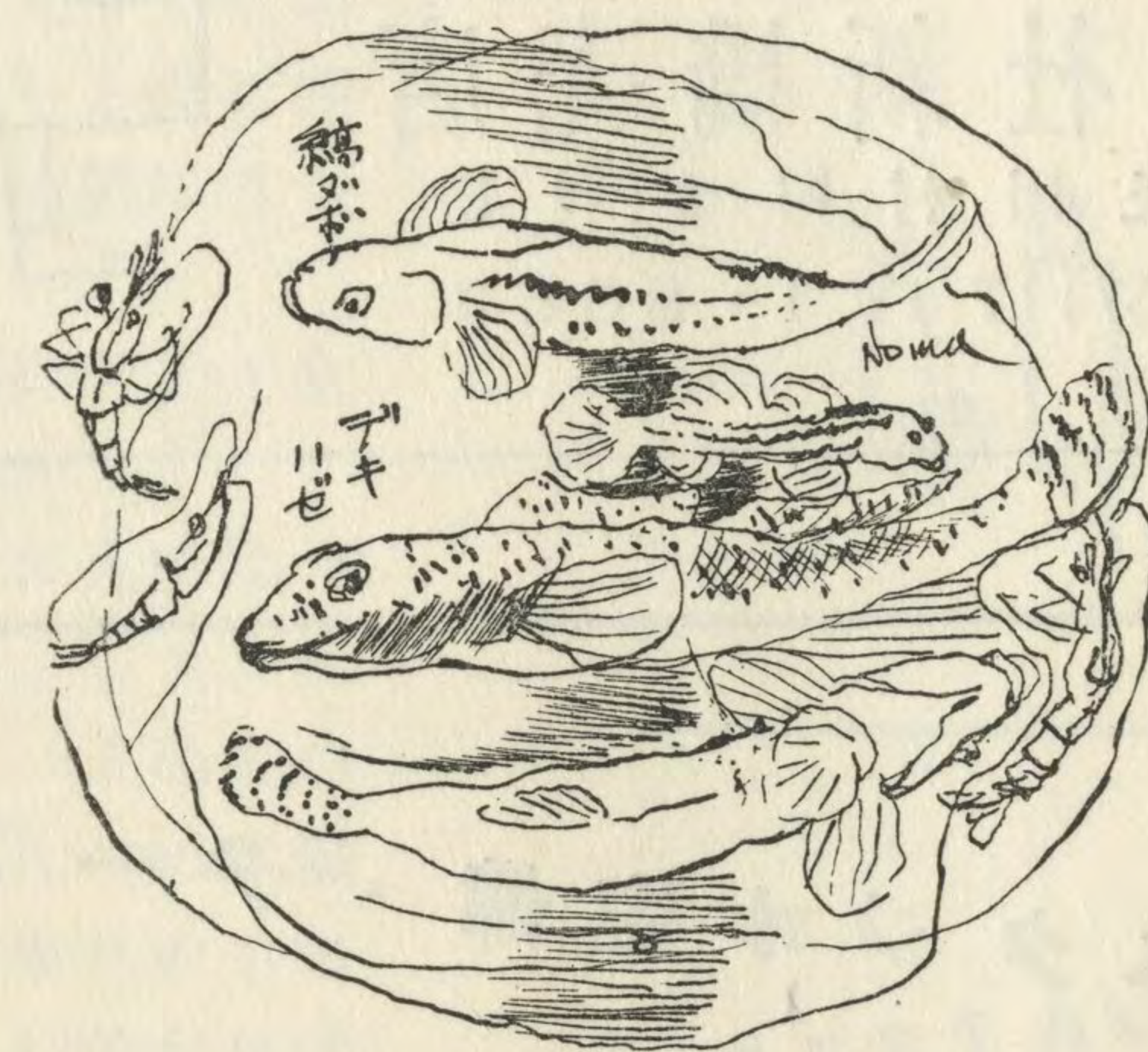


はおれず、一方冬は石油ストーブで暖をとっている有様。今夏完成の金工教室は鉄骨造とコンクリート造からなり仲々スマート。コンクリートの部分は製図等の静かな仕事の為に、鉄骨部は荒っぽい作業用という風に計画された。屋根板が非常に軽量化されたことやポリエステルの波板を曲げてトップライトを採っていること、ブロックの多用などが特徴である。別棟の鍍金教室も鉄骨造で、天井の赤いクレーンのモノレールとフィゴのしめなわが対称的。

次は元金工教室跡へ音楽学部本館の延長工事となるが来年度の計画がたった478坪とは情ない。改築計画約1万坪が完成するのは一体いつの日なのだろうか。

ピカソと言ったらピカソとは何かと同級生が質問した。今から考えるとおとぎ噺のようである。ピカソとかドラゴン、ルッソウ、ブラック、ルオーという言葉そのものが未だ伝来しない時代である。ラールビバンという雑誌を丸善で見つけた。ラールビバンの中に写真版で時とすると、ピカソ、ルッソオ、ドランの作品が掲載された。そうしてその小さな写真がどれ位新しく、私共に共感したか想像の外である。ところが残念なるかな写真があまり小さくてよくわからない。伊藤廉が或日、写真を拡大して大版に引きのばしたのを持って来た。不思議なるかな、あの小さな写真の中に筆触やもり上げがかくされていたのである。同志をつのって、拡大写真のはん布を行った。

美
校
時
代



野
間
仁
根

ロート、ブラッキス、彫刻ザッキンの木彫をふんだんに将来した。

雑誌はラールビバンの他にエスプリヌーボーが入手された。

デルスニスの将来した沢山の仏蘭西絵画が年々上野の森に花咲いた。今から考えると当時は安かった。ブラマンクの八号位ブドウの絵がたしか百五十円。どうかすると私でもむりすると買えたかも知れない。

ドラゴンとデュフィの三号から四号位の小品の連作がづらりと陳んだ。だがしかし当時の観賞家は誰一人本気になって集めなかった。ピカソの木版 ピエロやアルルカン。油絵の新聞紙。其他があった。

なにしろ、ゴッホの麦わら帽子の自画像、美術新報に掲載された二寸五分四角の色刷りを毎晩のように探しまわった。神田の古本屋、上野広小路の夜店、銀座の夜店、夜店をぶらつくと、雑誌の口絵、古エハガキ写真、色刷り専門の店があった。震災大正十二年以前のことである。大正の中期から白樺が、ゴッホ、セザンヌ、ゴーガン等を紹介し始めた。今でも残念に思っているのは、ブレークの詩画集特輯号を買いそびれたことである。古本屋にも沢山あったから、そのうちにとっていて買いそびれた。一寸五分位もある部厚い白樺である。

震災の年二科会が、ピカソ静物五十号。デュフィ五十号。海。マチスのニース連作、ブラック、ビジェール、

松方コレクションの一部だったか、谷中の美術院で、マチス、モネー、ロダン、ルノアールなどを陳列した。マチスの小品裸婦が赤いソファに横たわり、外に風景小品が一点、鉛筆淡彩が二三点あった。

ようやく印象派以後の作品に眼を開かれて、好きなように、好きなものを、好きな技法によって、描いてもいいのであるという確心が少しづつではあったが、おぼろげながら感知出来るようになった。

午前は人体写生をやり、午後は一級上の野口と二人で、花壇の周囲で画架を立てて写生を続けた。今の正門向って左側の陳列館のあるところである。芝山のあちこちに松が植って畑に四季の花が咲き続けていたのである。



世界中の

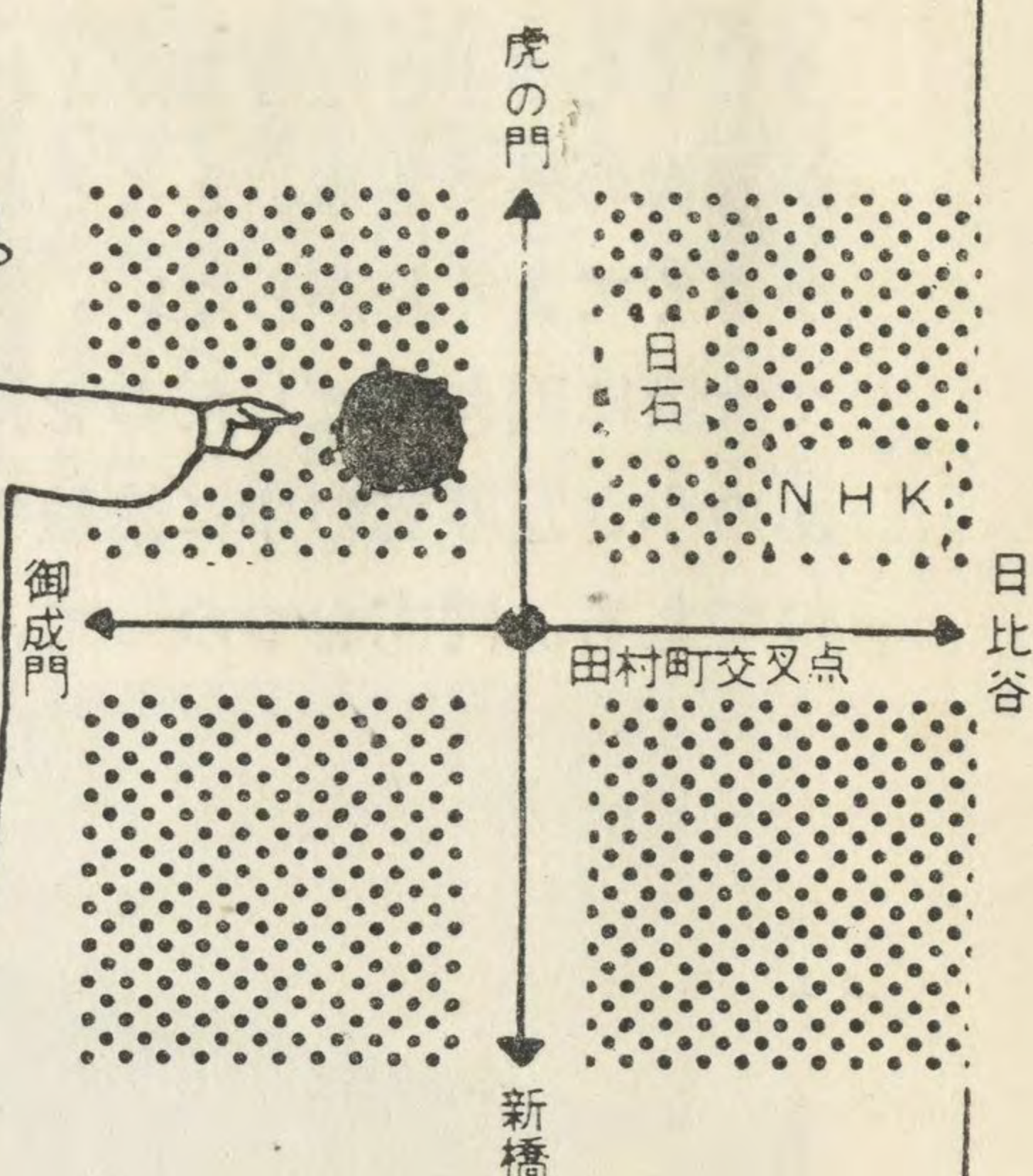
美術書、デザイン書が集っています

フランス ブラウン社
スイス クンストクラ
イス社、複製絵画の
日本総代理店

57年度商工業デザイン雑誌予約
承っております。(目録送呈)

海外出版貿易株式会社新橋売店

港区芝田村町2の8
TEL (57) 7471・8363



スタジオ完備・テープと円盤各科録音出張

録音・レコード吹込

出張録音御用金技術者オーディオ

富士録音

中央区銀座西3丁目3番地

TEL (56) 7240

芸大トピックス

●さすがは芸大、学内に到る所にぞ胸像の類存す。或閑人探究の念起し調べたるに、美術学部19、音楽学部存するはベートーベン、伊沢修の2像のみと昨年のトピックに書いたら1年間に2つ増えた。1つは正木記念館内に出来た藤島武二氏像、1つは音楽学部正面玄関前のクロイツァー教授像。クロイツァー教授像のレリーフは美術学部芸術学科山本豊市教授、設計は建築科の吉田五十八教授。吉田教授によれば「今まで使われなかった石の色を設計にとり入れた」由。

●ルーシー・ワインスタインさんは美術学部芸術学科1年のクラスに学ぶ外人学生。日本の美術を研究するために2年前に来日、日本語の講義を他の学生たちと同じ様に聞き、時には冗談さえいう程。以下は彼女の眼にうつった芸大生的一端――

――芸大生の日常生活について?。例えば男の子と女の子の間の空気について?(彼女は笑いながら)

――女の人の男の人に対する態度はアメリカ人に比べると大へん子供っぽいと思います。(このニュアンスはつまり色気がないってこと)講義の時、一人の女の子が男の人のとなりにすわるのをためらったのには驚きました。それから男の人は女の子などつまらぬものとばかり知らぬふりをしているけれど、あれで女の子の出欠には大へん良く気がつきます。お互に何くわぬ顔をしながらお互の存在には大いに敏感らしいですね(――と彼女の観察はシンラツである)

――芸大生の学生生活は
――学生たちは大体、真面目に勉強していると思います。入学当時は日本語の講義は殆んどわからなかったが先生はじめみなさんが協力して下さったおかげで最近では殆んどわかるようになりました。

――この間の仮装は、
――大変面白かったです。私も本当に出たかった。

●芸大の食堂は安いというのが定評。現在、美術学部は大浦と梅林、音楽学部にはキャッスルと三つある。ところで、一番よく売れるのが、大浦では42円也の合の子ライス、5円のミソシル、梅林では35円のカレーライス、35円の天井、キャッスルでは35円のコロッケライスと三者

具と

ポスターカラー

交通便利な

池袋・渋谷



東横

月曜定休

RESTAURANT・洋食・喫茶

キャッスル

東京駅前丸ビル一階 (20) 3505 3738

HOP

Ken

IKI-DORI TEL (57) 1262



世界中

美術書、デ

フランス ブラウン

スイス クンストク

イス社、複製絵画

日本総代理店

57年度商工業デザイン雑誌予約
承つております。(目録送呈)

海外出版貿易株式会社新橋

港区芝田村町2

TEL (57) 7471・8

三様。だがどれをとっても腹ごたえのあるものばかり。
合の子ライスは芸大名物、他所の人にはわからない。実
はカレーライスとカツがアベックで「合の子」という訳。
お米、三つの食堂合せて毎日6斗あまり炊くそうだから
我々の胃袋はまさに偉大である。

それから今年の食堂のニューフェイスとしてアイスク
リームが登場、大20円、小10円也が夏の内は梅林食堂
だけで1日大100個、小200個、大浦食堂でもほぼ同数
というから、芸大生もハイカラになったものですナ。

●美術学校時代の制服制帽というのを御存知? 勿論、
後は洋服になったのだが、一番最初にきめられたのが闊
脇(けつぎ)と称するもの。美術学部本館前左隅の岡
倉天心像が着てるのがそれで、千円札の聖徳太子そのま
まというやつ。先生が黒色、生徒が青色で、巷人は朝鮮
人といってたらしい。実のはなし、明治26年に天心一行
が朝鮮旅行に出た時、例の闊脇を着ていたので金玉均の
一行と間違えられたとか。

編集 芸術祭プログラム編集委員会

発行 東京芸術大学芸術祭運営委員会

1956年10月20日印刷 11月1日発行

印刷 細川活版所

(非売品) 表紙デザイン 佐野 寛



スタジオ完

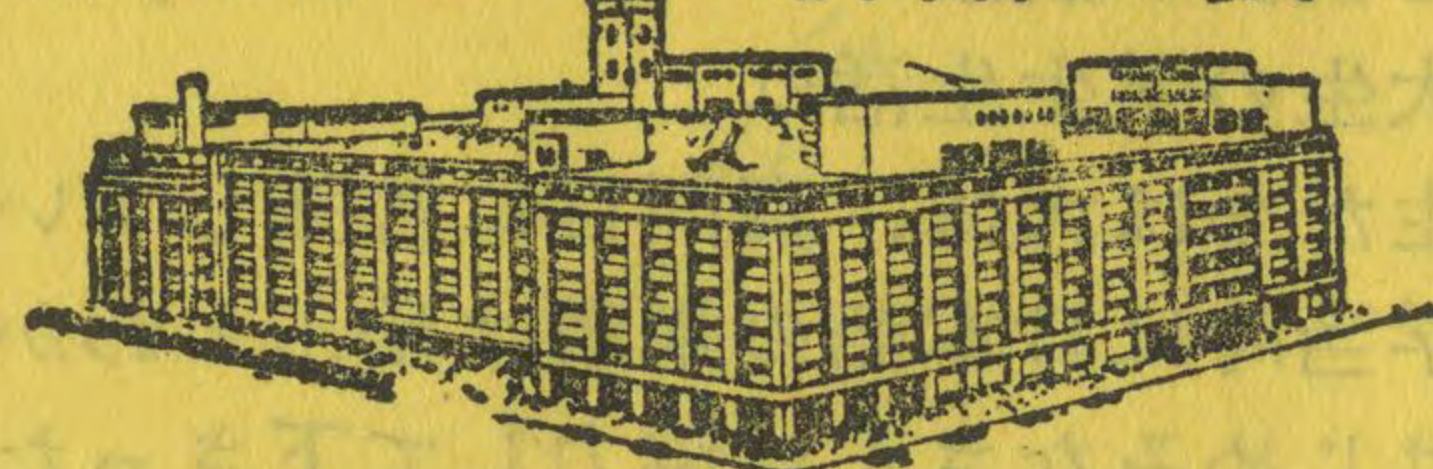
録音・レコード吹込

中央区銀座西3丁目3番地

TEL (56) 7240

大切なお金で 上手なお買物

日本橋本店 新館拡張



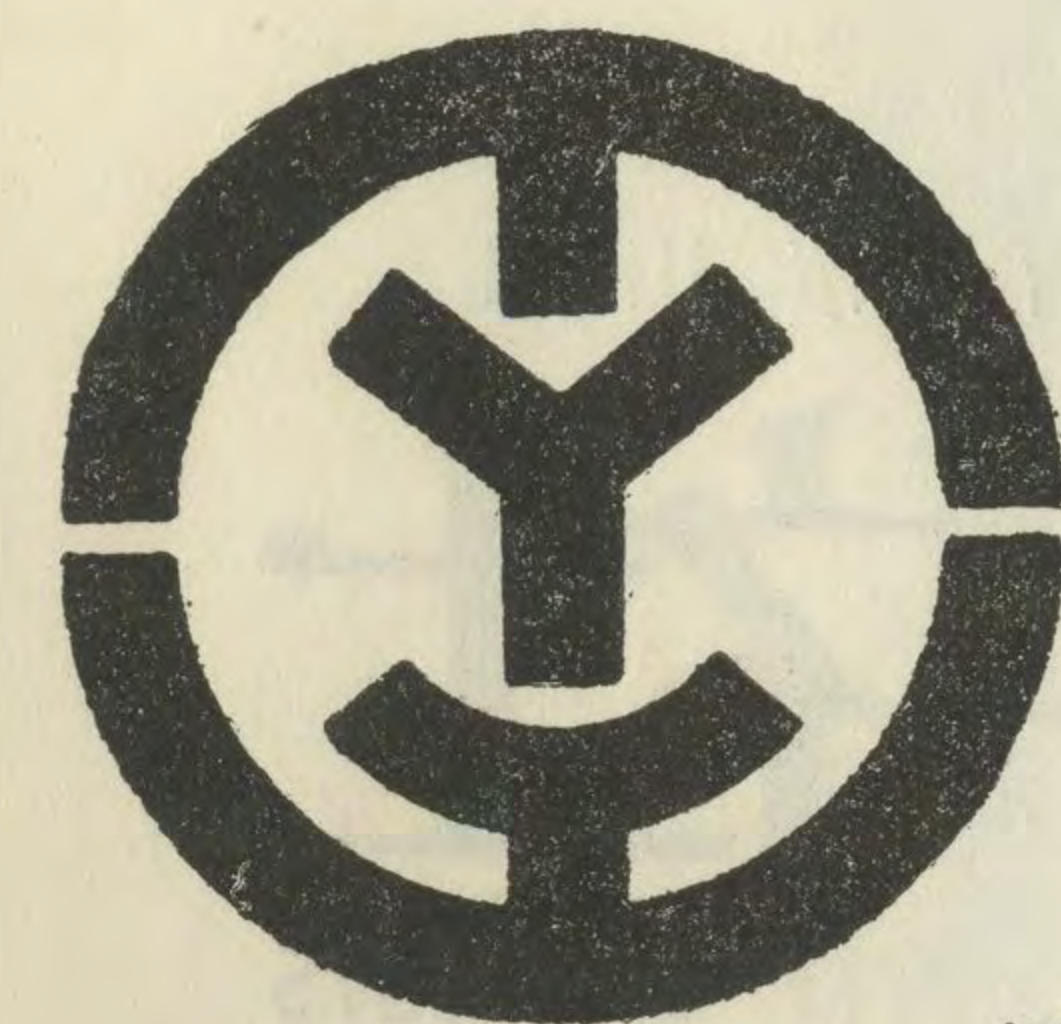
受けて重宝
三越の商品券



文房堂の専門家用油絵具と

・有名画材店に有り・

ポスター カラー



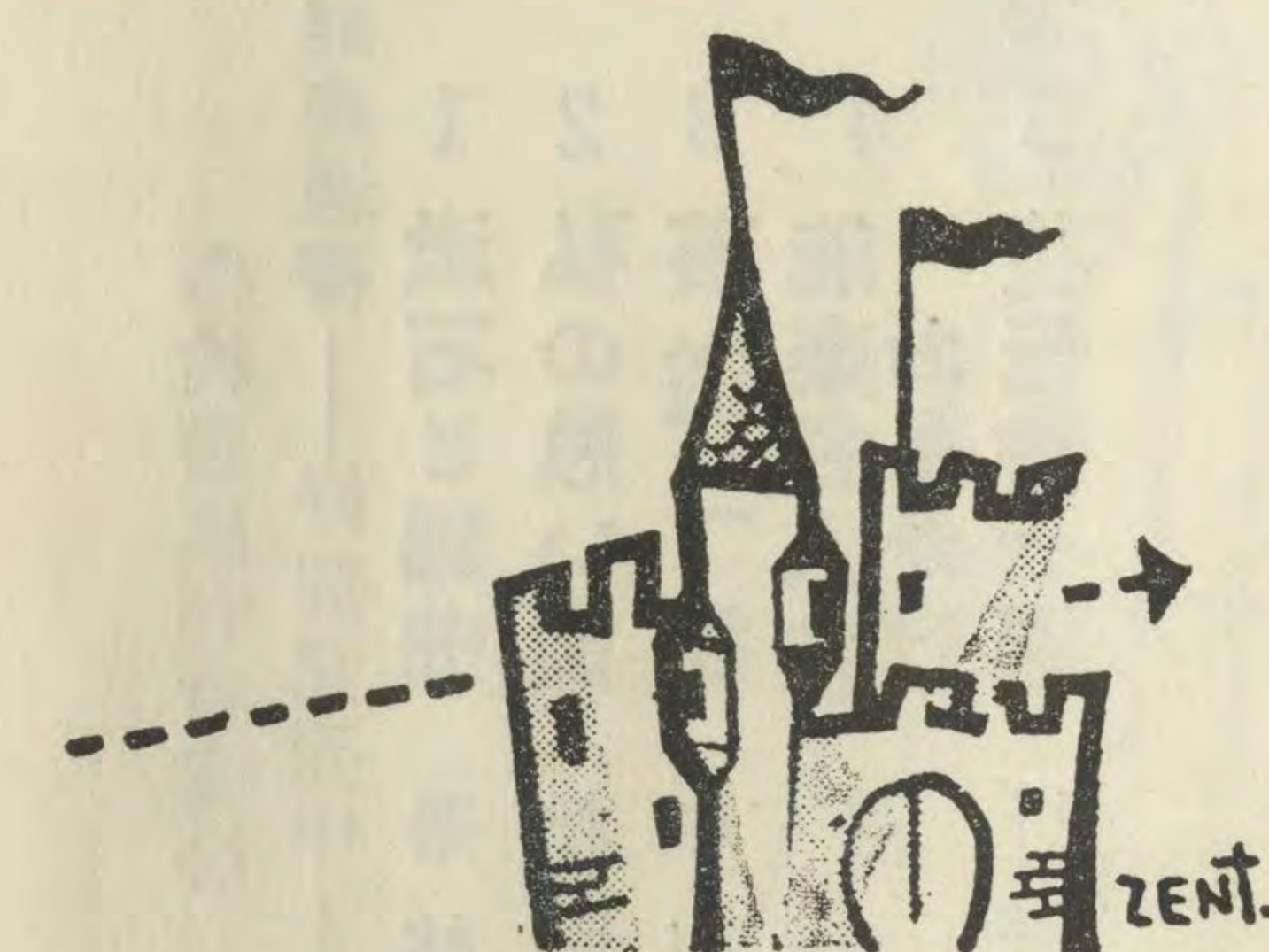
お買物は... 交通便利な



池袋・渋谷

東横

月曜定休



AMERICAN STYLE RESTAURANT・洋食・喫茶

チャリスル

東京駅前丸ビル一階 (20) 3505 3738

EXPERT BARBER SHOP

Young Ken

GINZA NISHI 5-3 NAMIKI-DORI TEL (57) 1262

油絵のマティエール

岡鹿之助 著
学生版 ¥ 380 円 30

写生地案内

- 1 関東・中部・東北・北海道篇 ¥ 160
- 2 近畿・中国・四国・九州篇 円 10

美術出版社
振替東京一六六七〇〇
牛込局市谷本村町15

箏譜・三弦譜
・各種唄本
(出版総目録送呈)

東京都港区芝西久保桜川1

邦楽社

TEL 43) 1781・2686・4496 振替 東京12875

各流謡本
能楽図書
能楽用品
能趣味品
能会切符
・営業目録送呈・

東京都千代田区神田神保町3-9
電話(33)0226 7716 振替東京4163

わんや書店

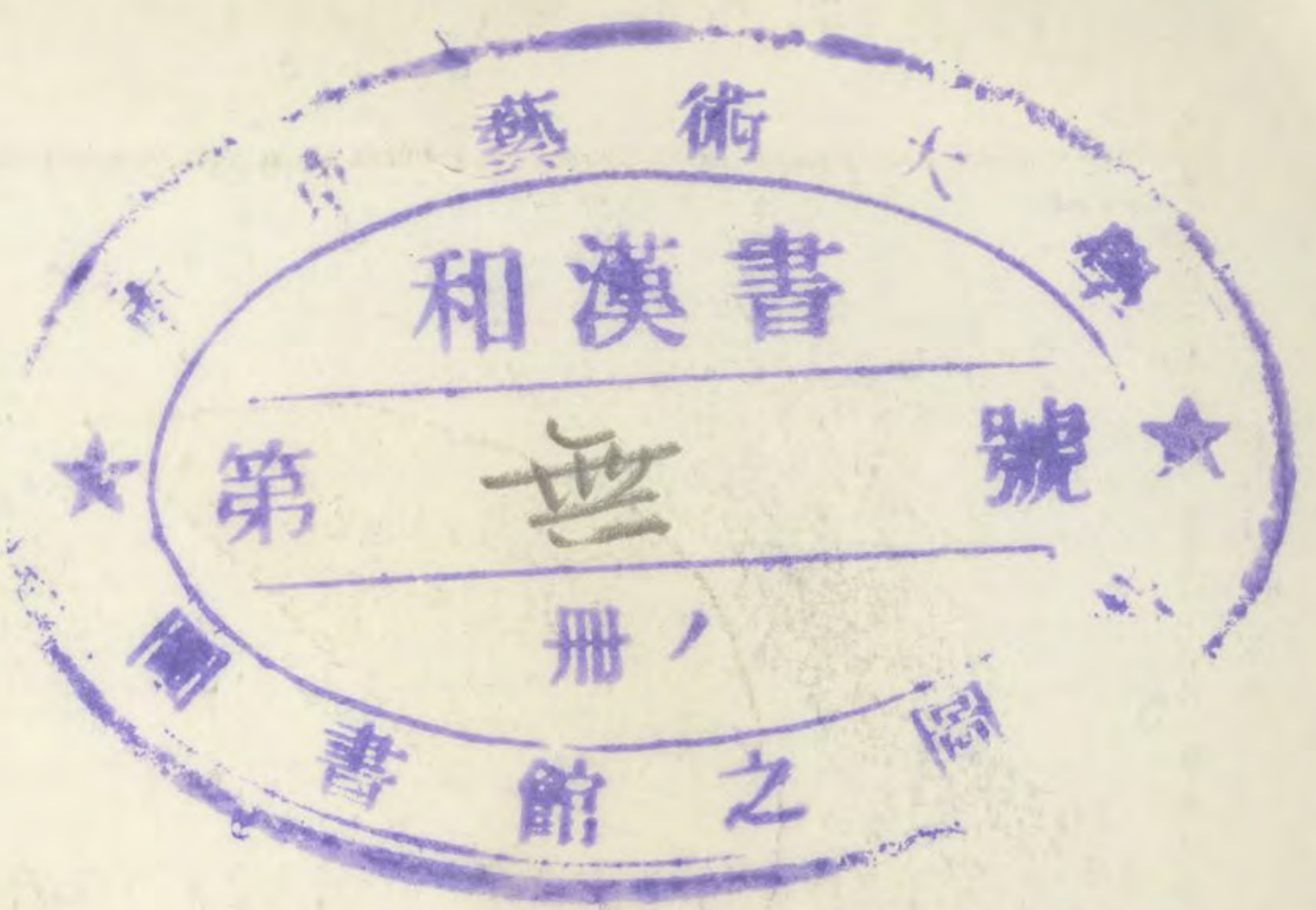
小売部 港区芝新橋1-8
電話(57)0514

文学博士 川瀬 馬 著
校註 花伝書 定価一五〇円
世阿弥の芸術論書の註解書 二〇〇円
法大助教授 田中 允 編
校本 四座役者目録 定価四八〇円
往古の能役者人名辞典逸話集 二〇〇円

檜書店

神田小川町電停前
電話(29)二四八八番

- ◇檜書店刊行書◇
能楽選書——好評発売中——
- 1 漱石と謡曲 栗林貞一
 - 2 私の思い出 松野奏風
 - 3 芸道一路 片山博通
 - 4 能楽名人のおもかげ 沼 艸 雨
 - 5 花伝書七遍 川瀬一馬
- 150 190 150 140 100



377.9
To 46
3

船 岡 の

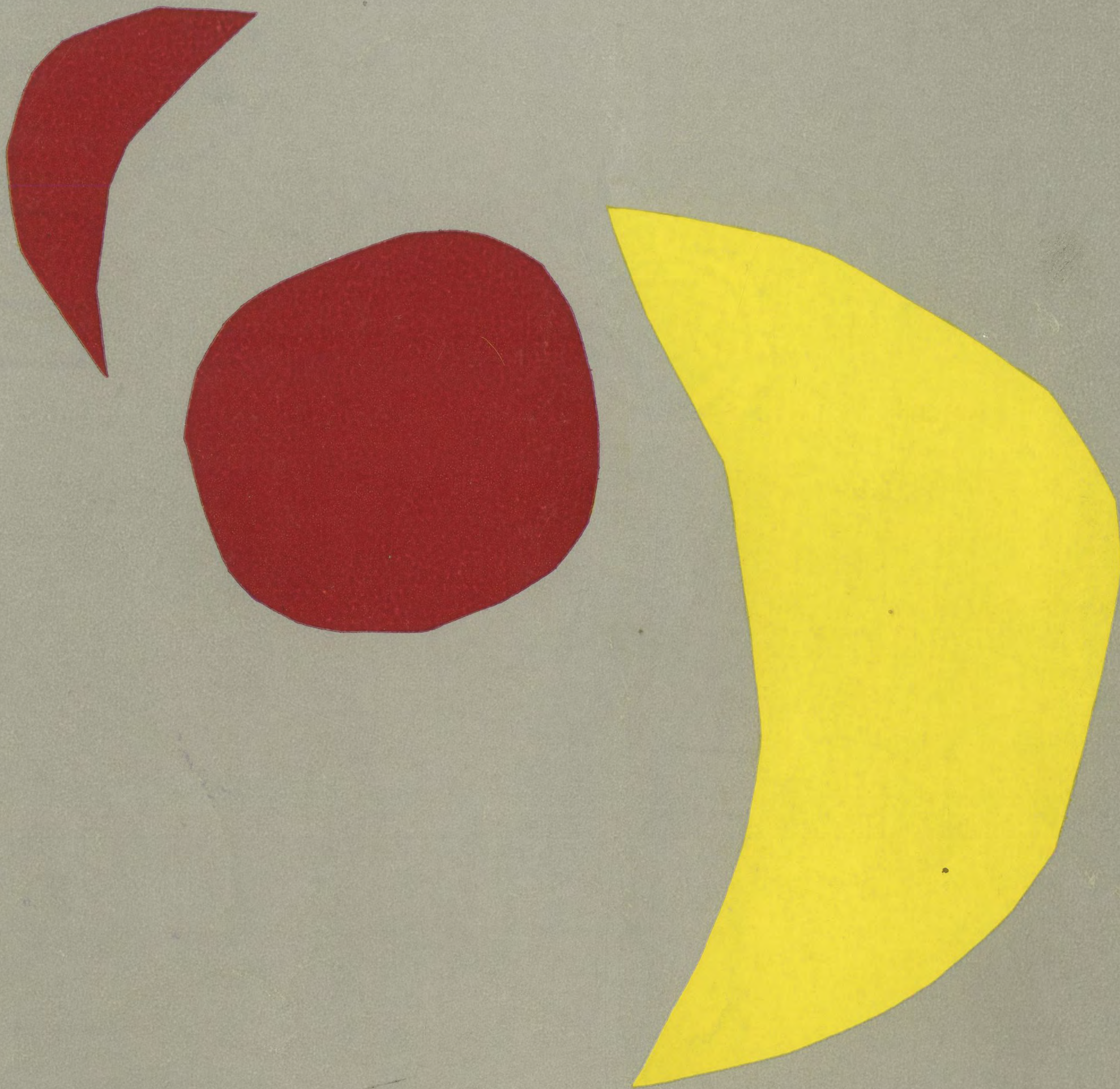
キャンバス

日本画材工業株式会社
浦和市岸町

TEL 66 1531
3938
7903
67 4922

東京都千代田区東紺尾町19

綿・麻・ヒニール・紙・加工
株式 鈴広 商会



1956 Geijutsusai, Tokyo University, of Art

